



市井の歴史実践・郷土研究の粋、南木芳太郎と『上方』のスピリッツを次代へ

過去と現在を行き来しながら、未来を考えるコミュニケーション・ツールになればとの想いを込め、大阪ガスネットワーク エネルギー・文化研究所/U-CoRoプロジェクト・ワーキングは、大阪・上町台地をフィールドに、実践研究の一環として、2013年秋から約10年余、『上町台地 今昔タイムズ』を発行してまいりました。そして、今年(2024年)春に発行した第20号が、最終号となりました。同紙は、一瞬で読み捨てられる情報ではなく、長く手元に置かれ繰り返し読まれ・活用される情報であることを目指してきました。

この間、編集ワークを重ねる中で、地域のみなさまがご提供くださった貴重な記憶や資料の数々、心ある研究者のみなさまの豊かな知見とともに、かけがえのない“知”の源泉となったのが、戦前の大阪で発行された郷土研究誌『上方』でした。『上町台地 今昔タイムズ』の最終号で、何を伝えるべきかを考えたとき、『上方』の価値を次代へつなぐ架け橋となることが、何よりも意味のあることではないかと思に至りました。そうして編んだのが、第20号「その眺め、上町台地曼荼羅しながら 『上方』に刻まれた、まちの相貌と魂を次代へ」です。

そこで、同号の記念フォーラムとして、2024年のトークライブは、かつて『上方』を発行した南木芳太郎のスピリッツを次代へつなぐべく、市井の歴史実践・郷土研究の粋をキーワードに、出演者にご来場のみなさまとともに、対話を紡ぐことができると考えています。折しも、2025年大阪・関西万博が目前に迫るなか、『上方』から何を学び未来に何をどう手渡していくのか、博物館や図書館等の文化的コモンズの役割を含め、大切な論点を共有する機会になれば幸いです。



『上方』を編集発行した南木芳太郎氏。1932年12月17日、上方郷土研究会行事「更正二〇加」北陽演舞場前に立つ(提供:南木ドナルドヨシロウ氏)



▲『上町台地今昔タイムズ』第20号



*『上町台地 今昔タイムズ』や関連フォーラムのドキュメント・レポートのバックナンバーは、ホームページ「大阪ガスネットワーク CEL」「U-CoRo」で検索してご覧いただけます。

■開催日時: 2024年10月12日(土) 14:00~16:30頃 ※13:30開場

■LIVE会場: 大阪ガス実験集合住宅NEXT21 2階ホール(大阪市天王寺区清水谷町6-16)

■開催・参加方法: 会場参加もしくは後日録画視聴(希望者対象に1カ月間限定配信)

■定員: 会場50名程度(申込先着順)、録画配信希望は定員なし(要申込)

■プログラム(予定)・出演者:

14:00~14:10=開会・ご挨拶(開催趣旨等)

14:10~16:30=トークライブ

「市井の歴史実践・郷土研究の粋、南木芳太郎と『上方』のスピリッツを次代へ」

コーディネーター: 谷直樹(大阪市立大学名誉教授、大阪くらしの今昔館前館長)

パネリスト: 北川央(九度山・真田ミュージアム名誉館長、大阪城天守閣前館長)

橋爪節也(大阪大学名誉教授)

弘本由香里(大阪ガスネットワーク エネルギー・文化研究所 特任研究員)

コメンテーター: 会場にお越しの関係者のみなさまから

◎申込方法: <https://x.gd/5J2LD> のフォームからお申込みください(右の二次元コードからもアクセスできます)。申込締切10月10日。※録画配信をお申込みの方には後日メールでURLをお送りします。



■主催: 大阪ガスネットワーク エネルギー・文化研究所(CEL) ■企画: U-CoRoプロジェクト・ワーキング

◎問合先: CEL弘本(電話 06-6205-3518)まで

雑誌『上方』の表紙(00)は号数) 3 天王寺研究号(1931年) 11 大阪城研究号(1931年) 12 道頓堀変遷号(1932年) 44 大風水害号(1934年) 50 大阪今昔図絵(1935年) 70 第70号(1936年) 75 号(1937年) 80 第百記念号(1939年) 100 続郷土玩具号(1940年) 141 第141号(1942年)